

第65回大会 <戦評>

諏訪中会場

【Aコート】

○準決勝 花田でいただき(花田養護) 34-16 広島東部オカープス(岡谷東部中)

前半、花田養護は#8大野田のシュートが連続で決まる。対する岡谷東部中は、#26丸太、#2佐藤、#8樋口と代わる代わるゴールを決め、一進一退の好ゲームとなる。男性5人の岡谷東部中に対し花田養護は女性2人男性3人の混成チーム。8-8の同点で迎えた前半終了残り2秒で、花田養護#1福島(女性)が見事なロングシュートを決め11-8とし、3点リードで折り返す。

後半は、花田養護の女性陣2人、#1福島と#2山口が大活躍。次々に3Pを決め、一気に24-10とダブルスコアに突き放す。対する岡谷東部は、男性パワーで善戦するものの1ゴールは2P。花田養護#1福島の3連続3Pゴールで更に点差が開いてしまう。結局、34-16と大差をつけ花田養護が快勝した。

○決勝戦 宮川太郎(宮川小) 21-8 花田でいただき(花田養護)

決勝戦は宮川小学校「宮川太郎」と花田養護学校「花田でいただき」の対戦となった。#1福島、#2山口の得点力を生かして1、2回戦を勝ち上がった花田養護に宮川小がどう対抗するか。勝負は試合前の作戦会議から熱く燃え上がっていた。オープニングショットは宮川小#3小林。レイアップシュートを鮮やかに決め、その後も宮川小が立て続けに5ゴールを奪って11-0とリード。しかし、前半終了1分前に花田養護の#1福島の3ポイントシュートが決まり11-3。宮川小も1ゴールを返して前半を13-3で終了した。

後半は宮川小が#47田中のシュートから連続4ゴールを奪って21-3と大きく引き離しにかかる展開。対する花田養護も試合終了間際に2ゴールを連取し、何とか一矢を報いたが、最終スコアは21-8。宮川小の優勝で幕を閉じた。決勝戦に相応しい好ゲームとなった。

【Fコート】

○準々決勝 神明大明神(神明小)16-20 茅野東部デビルファイヤーズ(茅野東部中)

昨年度、Fコートの決勝戦で白熱の試合をした優勝チームと準優勝チームが1回戦で当たるといふことで、実力的には事実上の決勝戦ともいえる試合だった。

東部中#4朝倉がジャンプシュートを決め、東部中の先制ゴール。神明小も#7駒村や#3小口がシュートを決めるも、東部中の#5降旗のスリーポイントシュートも決まり、前半は9対6の3点差で東部中がリードして終わる。

後半も、両チームバランスの良い攻めを続ける。神明小は、#7駒村が起点となってゴールに近い所にパスを入れるなどして、#8松浦、#7駒村、#3小口がシュートを決めていく。東部中も#5降旗を起点としてパスを回し、#9藤森、#7常盤、#5降旗と多くの選手がシュートを決めていく。途中神明小が2点差まで詰めたが、東部中#5降旗が後半もスリーポイントシュートを決め、最終的には20対16と、4点差をつけ東部中が勝利した。

○決勝戦 玉川パセリーズ(玉川小) 6 - 1 5 茅野東部デビルエンジェルス(茅野東部中)

東部中#7 常盤の先制ゴールでゲームが始まり、玉川小も#2 長田がドリブルでゴール下に入っのシュートを決める。東部中は#4 朝倉がフリースローを決め、1点リードする。玉川小#8 宇治が45度からのジャンプシュートを決めるが、東部中#9 藤森もジャンプシュートを決め返す。両チームとも、シュート前のドリブルでトラベリングを重ねたためか、玉川小4点、東部中5点とロースコアの前半戦となった。

後半に入ると、東部中のシュートが立て続けに決まる。東部中#9 藤森が3本連続で決め、東部中がリードする。玉川小は、#6 大槻や#4 西川などがジャンプシュートを打つも入らず、無得点の苦しい時間が続く。玉川小#8 宇治が45度からのシュートを決め、玉川小ベンチは大いに盛り上がる。しかし、残り時間2分となった頃、#5 降旗が東部中シュート後のボール運びをしている玉川小のボールのカットを狙い、成功。ランニングシュートを決め、東部中の得点を重ねる。最終的には後半10得点を重ねた東部中の勝利となった。

【 I コー ト 】

○決勝 玉川マヨネーズ(玉川小) 9 - 3 7 すわよーいDON(諏訪養護)

今大会唯一のマスターズは、玉川小学校「玉川マヨネーズ」と諏訪養護学校「すわよーいDON」対戦。玉川マヨネーズは#10橘を中心に丁寧にパスをつないで攻め込み、すわよーいDONは#4山口、#5関を中心にキレのあるスピーディなバスケットで対抗した。お互いに動きを確かめ合うかのような前半は、12対5。すわよーいDONのリードで折り返した。勝負が大きく動いたのは後半。すわよーいDONの#8竹村のシュートを皮切りに、山口、関の3ポイントシュートで加点し、その後も得点を重ねて一気に突き放して試合を決定づけた。最終スコアは37 - 9。すわよーいDONが勝利をおさめた。



長峰中会場

【Bコート】

○1回戦 チーム神中（上諏訪中） 16-25 歯ッピー四賀（四賀小）

上諏訪中#13 宮澤がジャンプボールに勝ち、上中の攻撃からスタートするが、四賀小#8 五味がいきなりパスカット。そのままシュートを決め、四賀小が先制する。さらに四賀小は、#10 朝日奈がシュート立て続けに決め、6対0とリードを広げる。四賀小は#9 竹内がパスカットをするなど、精力的にディフェンスしてリードを保とうとする。一方の上諏訪中は#13 宮澤のシュートで初得点をあげると、#5 中森のシュートでさらに追い上げ、6対4と四賀小に迫る。四賀小も突き放そうと、#6 高木がシュートを放つが、ここで上諏訪中#13 宮澤がファール。フリースローで四賀小が1点を追加する。さらに、四賀#10 朝日奈、#8 五味のシュートで加点していき、14対4と四賀小のリードで前半終了。

後半は上諏訪中#4 楯岩のシュートでスタート。四賀は#8 五味のスリーポイントで応戦し、17対6とリードを広げようとする。上諏訪中は#13 宮澤のシュート、四賀#8 五味のシュートで得点を加え、19対8と引き離されない。後半残り3分、上諏訪中は#7 笠原を投入。この試合、コート上唯一の女性選手。上諏訪中は#7 笠原にボールを集め3点プレイを試みる。残り30秒、上中は諏訪教育会会長の#1 藤木一が登場。シュートを放つもリングに嫌われ惜しくも外れる。最終的に、25対16で四賀小が逃げ切った。

○決勝戦 FJM46（富士見小） 36-27 川岸ストロング（川岸小）

昨年度優勝校の富士見小はその力を発揮し、ここまで勝ち上がってきた。一方の川岸小は初戦からの勢いを持続したまま決勝までたどり着いた。試合は富士見小#2 宮澤、#7 飯田の連続シュートで幕を開ける。対する川岸小は#9 増澤のシュートが決まり2点差につめるも、ファールから富士見小#9 伊藤のフリースローが2本決まり点差を広げられてしまう。しかし、川岸小も#13 矢ノ口がたて続けに得点をあげ、さらに#7 濱家もシュートを決めるなど粘りを見せる。富士見小は#7 飯田や#2 宮澤が落ち着いてシュートを決めて点差を広げていく。前半は富士見小が先制の勢いそのままに、12対27と差を広げて折り返す。

後半も、富士見小の勢いは止まらず、#7 飯田の3ポイントからスタート。しかし、ここまで勝ち上がってきた川岸小も決して引かない。#4 中山が立て続けにシュートを決めるなど、どうにかしてくらいつこうとし、流れを徐々に引き寄せ始まる。しかし、富士見小もここぞというところでシュートを決めて勝負を譲らない。点差を縮めるも、27対36で富士見小が逃げ切り、連覇を果たした。

【Gコート】

○1回戦 城南さっちゃんず（城南小） 27-16 おいかワイイ女（小井川小）

城南小#6 櫻井の得点で試合が動きはじめたこの試合。小井川小もすぐに#2 山田のシュー

トで同点とする。城南小は#6 小口がシュートにリバウンドにと大活躍。そこから#1 田澤の得点につなげ、6対2とリードしていく。小井川は#6 小森がシュートを決めて追いつこうとするが、しばらくこう着状態が続く。その中、城南小#1 田澤のシュートに小井川小がファール。2スローが与えられる。これを決めた城南小がその後のシュートの打ち合いを制し、14対8とリードして前半を終了。

後半は、前半の勢いを持続した城南小が#1 田澤の速攻、#3 片原のシュートなどでリードを広げて21対12とする。小井川も#5 池田のシュートなどで追い上げ、なんとか追いつこうとする。しかしながら、疲れが見え始めた小井川小は、城南小に速攻を許し始め、結局27-18と城南小が逃げ切った。

○決勝戦 歯ッピー四賀（四賀小） 17-15 原小セロリンズ（原小）

原小#2 田中のフリースローが決まり試合が動着始める。さらに原小は#1 加藤のシュートでリードを広げようとする。一方、四賀小は#8 平林のシュートが決まるなど、ここから得点を重ね、5対3となるが、そのご膠着状態が続く。前半残り2分の時点で原小#4 赤堀の3ポイントをきっかけとして、原小のシュートが連続で決まり得点を重ねる。8対7と辛くも原小がリードして前半を終了。

後半はリードを許した四賀小が先行する。#7 平林が続けて得点。しかし、原小も黙っていない。#4 赤堀の3ポイントで再び1点差に詰め寄り、粘ろうとするも四賀小#9 小林のシュートでリードを広げる。残り2分、原小#1 加藤のゴールが決まり同点に追いつく。1点を争う好ゲーム。試合を決まったのは残り20秒。四賀小#7 平林のシュートが決まり2点リード。原小も時間いっぱいまで激しい攻めを見せて詰め寄るが、四賀小が守りきり優勝を果たした。

諏訪南中会場

【コート】

○準決勝 岡ヤンキース（岡谷東部） 27-33 TEAM373（諏訪南）

今大会屈指の好カードの試合。ともに連覇を狙うチームだけに試合前に気合いが入る。ゲーム開始とともに岡谷東部#10 佐藤、#1 小野の3ポイントが連続で決まる。諏訪南はファウルを恐れずにディフェンスやパスカットを狙いチャンスを作り、#8 神津のジャンプシュートが決まる。岡谷東部は#1 小野の速攻や#7 宮坂のドライブから果敢に攻め、#7 宮坂がファールをもらいながらシュートをねじ込む。一方、諏訪南は#5 小林がシュート時にファウルをもらい、フリースローを3本決める。さらに#5 小林は3ポイントを決め、8対9と諏訪南が1点差に詰めたところで岡谷東部がタイムアウトをとった。タイムアウト後、#34 山崎が鮮やかにジャンプシュートを決めれば、#5 小林が連続3ポイントを決め両者譲らない。しかし諏訪南はチームファウルがかさみ、フリースローを与えてしまう。ここで岡谷東部#1 小野がフリースローをきっちり2本決め逆転に成功。残り10秒となったところで諏訪南#5 小林がシュートファウルをもらい、3本のフリースロ

ーを決め逆転したところで前半終了。15対17で諏訪南が2点リードして折り返した。

後半は岡谷東部#1小野がまず速攻で得点する。諏訪南#5小林の速攻からのジャンプシュート。岡谷東部#34山崎のジャンプシュート、諏訪南#3赤羽の3Pシュートと互いにシュートを落とさない。そこからしばらく得点が止まったが、またもや諏訪南#3赤羽が3Pを決め、リードを7点に広げる。岡谷東部はプレーが堅くなり、ベンチからタイムアウトが入った。再開後、岡谷東部#10佐藤の3Pが決まるが、諏訪南#8神津がゴール下で献身的なプレーをし、2点とフリースロー1本を決める。岡谷東部はタイムアウト後も流れを引き寄せることができない。岡谷東部#1小野や#5原が果敢に攻めるがファウルをもらうのがやっとな。諏訪南はここから時間を使って攻め、相手の攻撃のチャンスを減らしにかかる。焦る岡谷東部はシュートミスが続き、点差を縮めることができない。結果、33-27で諏訪南が勝利した。

○決勝戦 TEAM373 (諏訪南) 27-21 重明と湊もだち (湊小)

立ち上がりは両チームともにじっくりとセットオフenseからシュートを狙うが疲れもあり、なかなかシュートが決まらない。その中、湊小#2小口のみドルシュートが決まり、湊小が先制点。対する諏訪南は#3赤羽がドライブからシュートを決め食い下がるが、湊#2小口、#5竹内がシュートを決め差を広げる。結局、前半は6-8で湊小のリードで終了した。

後半、諏訪南#8神津のリバウンドからのゴール下シュートで流れを作り、#5小林の3P、#3赤羽のシュートで諏訪南が逆転に成功する。その後、湊小も#4河越、#1上原の得点で追いつけるが、諏訪南はこの日絶好調の#5小林の連続3Pで引き離す。さらに#8神津のジャンプシュート、#6中村の速攻からの得点と続き、最終的に27-21で諏訪南中が勝利を飾り、連覇を果たした。

【Eコート】

○1回戦 諏訪よーいGO (諏訪養護) 21-23 湖東仮面989 (湖東小)

湖東#11エヴィソンのゴールからスタート。諏訪養護は序盤で#4小須田がアンスポーツマンライクファウルを犯してしまい、立ち上がりが悪い。しかしこのチャンスを湖東は生かせず、波に乗りきれない。すると諏訪養護は#6宮坂や#4小須田の3Pシュートの連続得点で逆転する。湖東も#11エヴィソンのフリースローやジャンプシュートで得点を重ねるが、諏訪養護も#6宮坂や#2黒岩がシュートを決めリードを渡さない。そして前半を11対9で折り返した。

後半も立ち上がりから諏訪養護の#6宮坂や#4小須田のシュートが立て続けに決まり、一時リードを6点にまで広げる。湖東はディフェンスで粘りながら、#11エヴィソンがオフense、ディフェンスともにリバウンドを拾い、攻撃のチャンスを広げる。すると#5清水の連続シュートや#11エヴィソンの速攻が決まり、徐々に追いつける。それから両者拮抗したゲームを展開し残り30秒を切ったところで諏訪養護の#5松澤がシュートを決め1点リードする。そのままゲームが終わると思われたが、残り3秒のところ湖東#9片岡の3Pが決まり逆転しゲームを決定づけた。結果23対21で湖東小が勝利した。

○決勝戦 湖東仮面989 (湖東小) 11-20 希望の塔 多幸 (長地小)

開始早々、湖東#11エヴィソン、長地#8澤田が2点を取り合う形から始まった。どちらも堅いディフェンスとルーズボールに飛びつく姿勢があり、激しい試合となったが、長地#3若井や#8澤田のシュートが決まり始める。一方の湖東はゴール下のシュートを何本も外してしまう。湖東#2土屋がやつのところでジャンプシュートを1本決める。長地は中のディフェンスをしっかりと固め、リバウンドからの速攻を仕掛けるがことごとく外してしまう。互いにリバウンド争いが熾烈を極め、前半は5対8と長地小のリードではあるが、ロースコアで折り返した。

後半は長地がフリースローで1点ずつ得点を重ねていくが、フィールドゴールが生まれない。湖東小は6分以上得点がなかったがようやく#9片岡がシュートを1本決めた。さらに#2土屋がドライブからシュート、続けて#9片岡のジャンプシュートが決まり、差を2点まで縮める。しかし終盤にかけて長地の#9大道を中心にシュートが決まり、湖東小は万事休す。長地小が点差を広げて優勝した。

岡谷南部中会場

【コート】

○準々決勝 EI! MEI! JUMP! (永明小) 11-19 剛勇無双永明中 (永明中)

序盤から両者ともに激しい攻防を繰り広げ、お互いにディフェンスで相手に得点を与えない。そんな中、永明中#7笠井が4分すぎに速攻からミドルを決める。その直後に永明小#6武田がフリースローを得るが決められない。一方、永明中は#4武居のポストプレーで得点を重ねる。しかし、粘る永明小がその後立て続けにシュートを決め同点に。永明中は#1田中の3ポイントで再びリードを奪う。その後は両者ディフェンスを譲らず永明中7-4永明小で前半終了。

後半、永明中が#5依田のシュートを皮切りに永明中が点差を広げる。永明小は#2小林が速攻からバスケットカウントを得て反撃をするが、永明中の堅いディフェンスを最後まで崩せない。最後は永明中#4武居がブザービーターを決め、19-11で永明中が勝利した。



○決勝戦 剛勇無双永明中 (永明中) 14-22 岡南斗聖拳 (岡谷南部中)

1回戦の接戦をものにした永明中と延長戦のゲームを含む力の拮抗したブロックを勝ち上がった岡谷南部中の決勝戦。昨年度と同じカードとなった。お互い2試合を戦い、互いに研究してこの試合に臨んだことが序盤から伺える試合となった。両チーム堅い守りで要所を押さえ、シュートチャンスを簡単に与えない展開がしばらく続き、どちらも得点を奪えない。先制したのは永明中。#4武居がゴール下でシュートを決めて、ようやく試合が動き出す。永明中が#5依田の3Pシュートで得点を重ねれば、岡谷南部中は#7中村のドライブで得点を返し、一進一退の攻防が続く。前半はお互いに一步も譲らず10-10

で折り返す。

後半も堅い守備に苦しむ両チーム。この近郊を崩したのは岡谷南部中。ここまで中心となって得点を重ねてきた#7中村が敵を引きつけてフリーを作り、アウトサイドへパスをさばく。このパスから#10宮下が3Pを2本連続で決め、突き放しにかかる。その後、互いになんとか得点を重ねようとするが、堅い守備を崩せずになかなか得点が奪えない。結局このまま岡谷南部中が逃げ切り、22-14で勝利。昨年度のリベンジを果たした岡谷南部中が優勝を果たした。

【Hコート】

○準決勝 湖東仮面の女神（湖東小） 14-25 希望の塔 多幸（長地小）

両チーム守りが強く、試合序盤からなかなか得点が入らない状態が約3分続く。先制したのは湖東小。#2佐藤がフリースローを決め、試合が動き出す。しかしその後、長地小#1藤原がシュートを立て続けに決め、長地小が逆転する。さらに長地小が攻め立て#8飯島のシュートなどで点差を離していこうとするが、湖東小も粘り強く食らいつく。しかし、すかさず長地小#1藤原を起点とした攻めで点差を再び開けていく。前半は13-5で長地小がリードして終了した。

後半、リードしていた長地小が#4小田の速攻を始めとして攻勢に出る。一方、湖東小も押されっぱなしではない。#5山田の3Pをきっかけに反撃に出て点差を縮める。後半4分過ぎに湖東小#5山田がフリースローを1本決めて5点差まで点差を縮める。しかし、その後、6分過ぎに長地小#9降旗、#1藤原が得点を決め、長地小が再び点差を広げる。湖東小も粘るが、そのまま長地小が逃げ切り、25-14で長地小が勝利した。

○決勝戦 すわよーいはじめ（諏訪養護） 48-14 希望の塔 多幸（長地小）

昨年度の優勝校同士の決勝戦となった。激しい争いが予想される中、速攻から諏訪養護#7中村のシュートで先制し、ゲームが動き出す。その後、両チームとも堅い守りに苦しみながらも、速攻からのシュートで得点を重ねる。その展開を崩し始めたのは諏訪養護。#2奥原が上手いパス回しでゲームを作り、ゴール下へ絶妙なパスをさばく。これを周りの選手が確実に決め、諏訪養護がリードを広げる。これに対し、長地小も昨年度優勝の意地を見せ、ミドルシュートで反撃に出るが、諏訪養護の強いプレッシャーの前になかなかシュートを決めきれない状態が続く。前半を制したのは諏訪養護。#8が得点を重ね、24-4と大量リードを奪い、前半を終了する。

後半、長地小はリズムを立て直し、#1藤原のアシストから#4小田を中心にシュートを決め、なんとか点差を縮めようとする。しかし、諏訪養護の勢いは止まらない。#7中村や#2が中心となって得点を重ねて長地小を突き放していく。終わってみれば、48-14と諏訪養護がその実力を見せつけて、連覇を果たした。